

社長挨拶

6月の業務上での注意点

皆様毎日の作業お疲れ様です。
GW前の繁忙期、GW期間中の作業については、各事業所の皆様のご協力もあり問題なく業務遂行が出来ました。
全社員の皆様、ご家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。今年も昨年同様にコロナ禍の配送・倉庫作業・工場作業・事務所作業が続いております。
リモートだけでは仕事が成り立たない仕事ではありますが、日々の確実な出勤と作業を行って頂くことについては皆様の日頃の管理に感謝と御礼を申し上げます。

当グループでは約360名の方が従事されていますが、ここまで従業員の方が感染をすることなく作業環境を維持して頂いています。
通勤、ご家庭、職場先、積込先、納品先では、接触があるにもかかわらず維持できているのは、感染予防に一人一人が意識高く取り組んで頂いているからだと思えます。
引き続き、体調管理、感染予防については、ご協力をお願い致します。

6月は熱中症にお気を付けください

さて、まもなく6月の梅雨の時期に入りますが、体調管理面では「熱中症対策」が既に始まっております。特に季節の変わり目の6月に発症頻度が高いため、各事業所では注意喚起を図り本年度は発症「ゼロ」を目指して取り組んで下さい。万が一、体調のすぐれない場合は、無理することなく休憩・給水・連絡を取り指示を仰ぐことを行ってください。

安全面では、視界不良・スリップなど速度を落とす、停止するなどの判断を求められます。どちらか迷った際には、「止まる！」ことを優先し、連絡をして安全を確保してください。作業中の事故も梅雨に関係なく労災の可能性が最も高い場面ですので、さらに足元が滑る時期は更に慎重さが必要になります。
商品事故では、雨濡れ、カートン胴膨れなどの湿気の多い時期の対応をお願い致します。
雨具の着用、インナーの着替え、タオル等の用意を忘れずに、作業が安全に出来る体制を常に心掛けてください。
豪雨も頻発することも予測されますので、豪雨の際には、出勤の見合わせ、運行中の停止をして、事務所へ連絡確認を必ず行うようお願い致します。

従業員皆様のご協力をお願いいたします

最後にコロナ禍の環境はまだまだ続きます。それによって、景気の低迷はお客様も、当社も同じように影響を受けています。しかしながら、当社グループは、それによって雇用の減少をしたり、生活給の減少をさせることなく事業を進めて参ります。場合によっては、普段と違う作業をお願いしていくこともあるかもしれませんが、皆様のご協力があれば、変化をしながら前に進むことや事業や生活を向上できるものと考えております。
何卒、事務所・現場と連携を図り、当社に関わる方全ての方が共に努力して「悦び合える」ことを目指して参りましょう。宜しくお願い致します。

代表取締役 清水 英次





新しい生活様式での

熱中症対策

昨年引き続き、今年もマスク着用での夏がやってきます。夏場にトラックを運転する際に忘れてはいけないのが、熱中症対策。厚生労働省の発表によると、2020年に職場における熱中症で死傷した人の数は、建設業、製造業について、運送業が3位となつています。また運転中に熱中症を発症すると、周囲を巻き込んだ大事故に繋がる危険もあります。

では、ドライバ―の熱中症はいつかかりやすいのでしょうか？

①長時間の運転の際

トイレに行きにくいことを考えて水分補給を避けたり、アイドリングストップの観点から冷房を避けていると、熱中症の原因となります。

②荷積み、荷降ろし、倉庫内作業の際

夏場の荷積みや荷降ろしは高温の環境で行われることが多く、熱中症の原因になります。

③ひとりでの作業時

運転中はひとりであることが多いため、熱中症にかかっても周囲に指摘されることがありません。

「体調が悪いが、これくらいなら我慢できるだろう」と無理をした結果、発見が遅れ、重症化や事故に繋がるケースがあります。

1

熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

ウイルス感染対策は忘れずに



■マスクでの熱中症対策

マスクを着用することにより、熱中症のリスクは高まります。屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが潤いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。

2

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)



- ・毎朝など、**定時の体温測定と健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**

3

のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう



清水運輸グループの熱中症対策!!

毎年清水運輸グループでは熱中症対策として、経口補水液や塩飴の配布を行っております。

- 経口補水液はトラックに常温で常備をお願いいたします。
- 塩飴は事業所に常備してありますのでお声がけ下さい。

